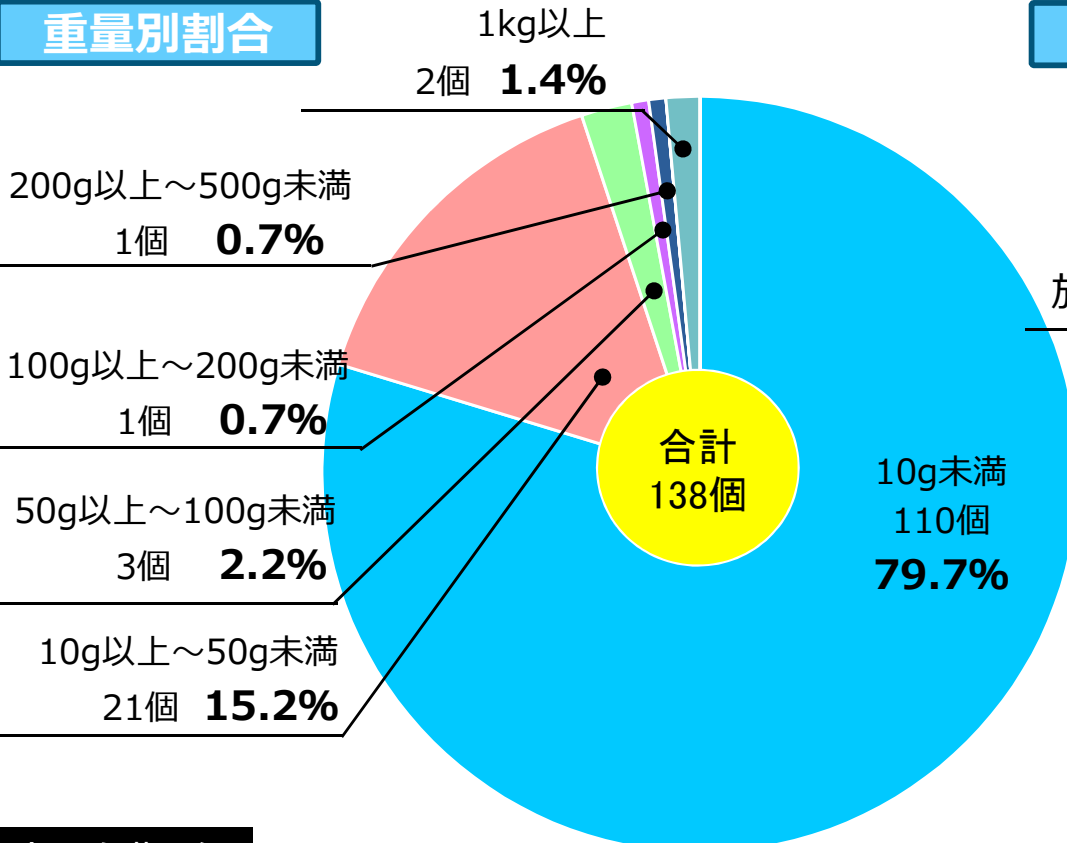


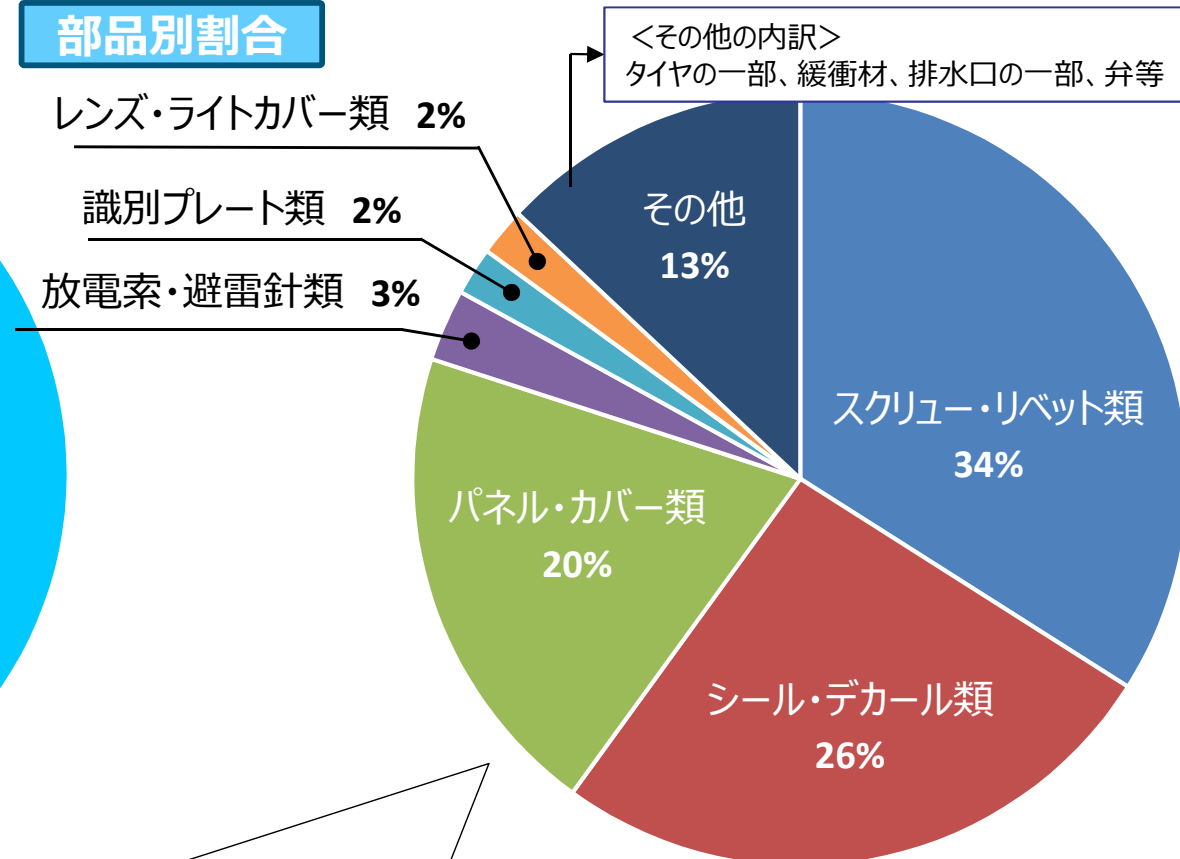
2021年12月～2022年1月における部品欠落の重量別・部品別割合

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2021年12月～2022年1月に報告された欠落部品の総計は138個であり、そのほとんどは100g未満、約8割は10g未満である。
- 減便が発生していた当該期間においても、駐機中の機体を含めて徹底的な点検等が実施されている。また、欠落部品の多数を占める10g未満の部品についても、各航空会社において、落下物防止対策基準に従って、欠落事例を分析し必要な再発防止策が進められている。

重量別割合



部品別割合



部品欠落の例



- 部品欠落報告の約3割はスクリー、リベット等の留め具であり、重さは1グラム～10グラム程度
- シール、デカール類の材質はアルミニウム、金属等であり、重さは1グラム～5グラム程度のものがほとんど
- パネル類の材質はアルミ等、キャップ・カバー類はゴム等であり、重さは2グラム～10グラム程度のものがほとんど
- 放電索、避雷針類の材質は複合材等であり、重さは5グラム～20グラム程度
- 識別プレート類の材質はアルミニウムであり、重さは4グラム～35グラム程度
- レンズ・ライトカバー類の材質は樹脂等で重さは10グラム～100グラム程度